(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 23 日

佐賀県知事 山口 祥義 殿

### 提出者

住 所 佐賀県佐賀市諸富町大字諸富津450味の素㈱九州事業所内

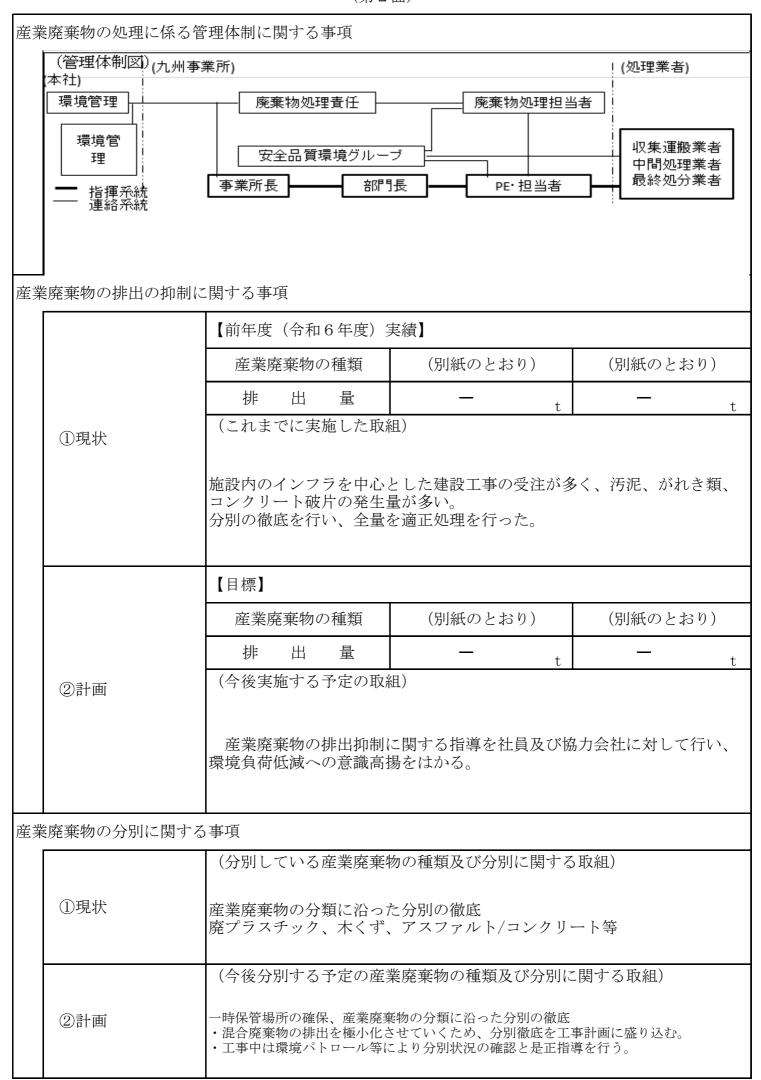
氏 名 味の素エンジニアリング株式会社 九州事業所 所長 鈴木 亮太郎 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0952-47-5987

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	• (	カ	名	称	味の素エンジニアリング株式会社 九州事業所
事	業	場	の	所	在	地	〒840-2105 佐賀県佐賀市諸富町大字諸富津450 味の素㈱九州事業所内
計		画		期		間	令和7年4月1日~令和8年3月31日(1年間)
当該	亥事	業場	にお	3615	て現り	こ行	っている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	06総合工事業
	2	事	業	の	規	模	3 5 億円
	3	従	보 ラ	業	員	数	20名
					の- ) エ		廃棄物の適正処理に関して、全面的に優良認定処理業者に委託している。定期的な処分場視察により状況を把握、確認を行っている。 また再生可能な廃棄物に関しては、再生処理・利用が可能な業者に委託している。 廃棄物の種類別の処理について「(別図1)廃棄物の処理工程」に概要を記す。

(日本産業規格 A列4番)



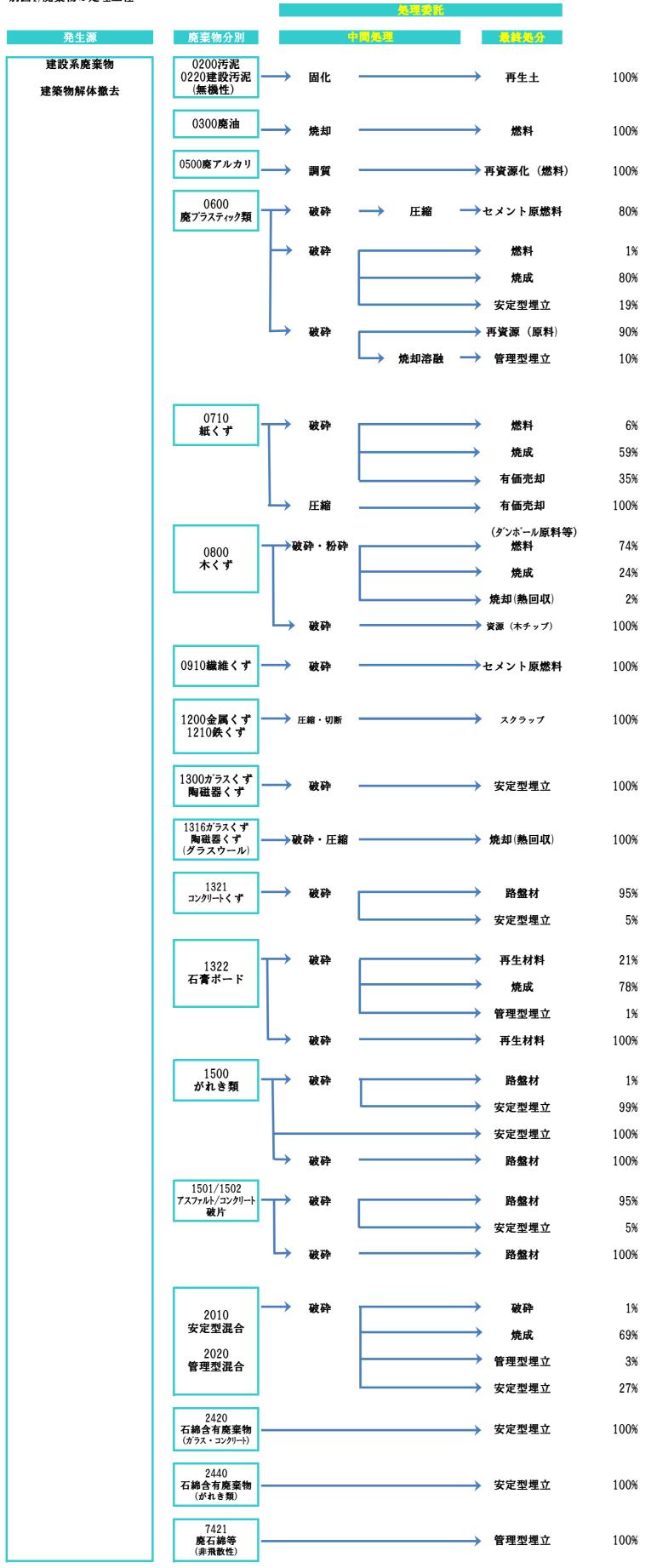
自ら	行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項				
		【前年度(令和6年度)実	績】			
		産業廃棄物の種類	_		_	
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_	t	_	t
	少先八	(これまでに実施した取組)	)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	-		_	
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t	_	t
		(今後実施する予定の取組)	)			
自ら	行う産業廃棄物の中間	]処理に関する事項				
		【前年度(令和6年度)実	績】			
		産業廃棄物の種類	-		_	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t	_	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_	t	_	t
		(これまでに実施した取組)	)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	_		_	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_	t	_	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_	t	_	t
		(今後実施する予定の取組)	)			

自ら行う産業廃棄物の	埋立処分又は海洋投入処分に関	する事項	
	【前年度(令和6年度)実	績】	
	産業廃棄物の種類	-	_
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	(別紙のとおり)
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	<u> </u>	t
<b>産業廃棄物の処理の委</b>	託に関する事項 【前年度(令和6年度)実	<b>(主】</b>	
	<u> </u>		
	産業廃棄物の種類	(別紙のとおり)	
	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	<u> </u>	<u> </u>
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	<u> </u>	<del>_</del> t
	(これまでに実施した取組・優良認定処理業者,再生系・電子マニフェスト対応可	川用業者または熱回収業	

	【目標】									
	産業廃棄物の種類	(別紙のとおり)	-							
	全処理委託量	_ t	_ t							
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	_ t	<u> </u>							
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	_ t	<u> </u>							
②計画	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	_ t	<u> </u>							
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	_ t							
	・可能な限り優良認定処 る。 ・電子マニフェスト対応	(今後実施する予定の取組)  ・可能な限り優良認定処理業者,再生利用業者または熱回収業者へ委託する。 ・電子マニフェスト対応可能な処理業者へ委託する。 ・委託業者への定期的な現地確認を実施する。								
※事務処理欄										

### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
  - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
  - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
  - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
  - 7 ※欄は記入しないこと。



# **様式第二号の八**(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄	物の排出の	つ抑制に	に関する	事項																	
	【前年度(令和6年度)実績】																				
①現状	産業原	<b>廃棄物</b>	の種類	0200 汚泥(泥状のもの)	0220 無機性汚泥	0300 廃油	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0710 建設工事紙くず	0800 木くず	1300 カ* ラス・コンクリート	1316 グラスウール	1322 石膏ボード	1500 がれき類	1501/1502 アスファル ト・コンクリート破片	2010 安定型混合	2020 管理型混合	2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート)	2430 石綿含有 (廃プラスチック 類)	2440 石綿含有 (がれき類)	7421 廃石綿等 (飛散性)
	排	出	量	9.110 t	8.840 t	0.000 t	21.430 t	18.945 t	0.900 t	188.925 t	45.600 t	0.620 t	1.200 t	1609.352 t	372.516 t	6.344 t	12.480 t	13.900 t	6.090 t	56.240 t	4.980 t
	【目標】																				
②計画	産業原	<b>쫉棄物</b>	の種類	0200 汚泥(泥状のもの)	0220 無機性汚泥	0300 廃油	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類	0710 建設工事紙くず	0800 木くず	1300 カ゛ラス・コンクリート	1316 ク゛ラスウール	1322 石膏ボード	1500 がれき類	1501/1502 アスファル ト・コンクリート破片	2010 安定型混合	2020 管理型混合	2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート)	2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート)	2440 石綿含有 (がれき類)	7421 廃石綿等 (飛散性)
	排	出	量	20.000 t	80.000 t	20.000 t	0.000 t	100.000 t	0.000 t	100.000 t	20.000 t	5.000 t	20.000 t	1800.000 t	300.000 t	20.000 t	5.000 t	50.000 t	10.000 t	20.000 t	30.000 t

### (第3面)

(第3面) ————————————————————————————————————	)																		
自ら行うが	産業廃棄物の再生利用に関	<b>員する事項</b>																	
	【前年度(令和6年度)実績】																		
①現状	産業廃棄物の種類	0200 汚泥(泥状のもの)	0220無機性汚泥	0300廃油	0500廃アルカリ	0600廃プラスチック類	0710建設工事紙くず	0800木くず	1300ガラス・コンクリート	1316グラスウール	1322石膏ボード	1500がれき類	1501/1502 アスファル ト・コンクリート破片	2010安定型混合	2020管理型混合	2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート)	2430 石綿含有 (廃プラスチック 類)	2440 石綿含有 (がれき類)	7421 廃石綿等 (飛散性)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	【目標】																		
②計画	産業廃棄物の種類	0200 汚泥(泥状のもの)	0220無機性汚泥	0300廃油	0500廃アルカリ	0600廃プラスチック類	0710建設工事紙くず	0800木くず	1300ガラス・コンクリート	1316グラスウール	1322石膏ボード	1500がれき類	1501/1502 アスファル ト・コンクリート破片	2010安定型混合	2020管理型混合	2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート)	2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート)	2440 石綿含有 (がれき類)	7421 廃石綿等 (飛散性)
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
自ら行う	産業廃棄物の中間処理に関	引する事項																	
	【前年度(令和6年度)実績】																		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥(泥状のもの)	0220無機性汚泥	0300廃油	0500廃アルカリ	0600廃プラスチック類	0710建設工事紙くず	0800木くず	1300ガラス・コンクリート	1316グラスウール	1322石膏ボード	1500がれき類	1501/1502 アスファル ト・コンクリート破片	2010安定型混合	2020管理型混合	2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート)	2430 石綿含有 (廃プラスチック 類)	2440 石綿含有 (がれき類)	7421 廃石綿等 (飛散性)
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	【目標】																		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥(泥状のもの)	0220無機性汚泥	0300廃油	0500廃アルカリ	0600廃プラスチック類	0710建設工事紙くず	0800木くず	: 1300ガラス・コンクリート	1316グラスウール	1322石膏ボード	1500がれき類	1501/1502 アスファル ト・コンクリート破片	2010安定型混合	2020管理型混合	2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート)		2440 石綿含有 (がれき類)	7421 廃石綿等 (飛散性)
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

# **様式第二号の八**(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

日本語															
無機解剖が確康 からいからい 1000 t 0000 t 00000 t 00000 t 00000 t 0000 t 0000 t 0000 t 000															
● 選集業務が登録															
日の日の男子は (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述) (記述)	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	440 石綿含有 (がれき類)7421 廃石綿等 (飛散性)													
実験産業的の機関   200	0.000 t	0.000 t 0.000 t													
### 2   10   10   10   10   10   10   10															
新年後大発育を行う   1000 t 0.000 t	1316か ラスウール 1322石膏ボード 1500がれき類 1501/1502 アスファルト・コンクリート破片 2010安定型混合 2020管理型混合 2420 石綿含有 (カ*ラス、コンクリート) 2440 (カ*ラス、コンクリート) 2420 石綿含有 (カ*ラス、コンクリート) 2420 石綿含和 (カ*ラス、コンクリート) 2420 石綿合和 (カ*ラス、コンクリート) 2420 石綿合和 (カ*ラス、コンクリート) 2420 石綿合和 (カ*ラス、コンクリート) 2420 石綿合和 (カ*ラス・コンクリート) 2420 石油 (カ*ラス・コンクロート) 2420 石油 (カ*ラス・コンクロー	440石綿含有 (がれき類)7421廃石綿等 (飛散性)													
新学院   (新学院 (全和年度) 実績    京歌   京歌   京歌   京歌   京歌   京歌   京歌	0.000 t	0.000 t 0.000 t													
<ul> <li>産業産業物の種類</li></ul>															
① 利状  ① 利状  ② 計画  ②															
(①現状 使み変定処理業者への	- 1316グラスウール 1322石膏ボード 1500がれき類 1501/1502 アススアァル 1316グラスウール 1322石膏ボード 1500がれき類 1501/1502 アススアァル 1・コンクリート破片 2010安定型混合 2020管理型混合 2020管理型混合 (廃プラス・コンクリート) (廃プラス・チック 類)	440石綿含有7421廃石綿等(がれき類)(飛散性)													
①現状   一型 乗 託 量 9.110 t 8.840 t 0.000 t 21.430 t 18.945 t 0.900 t 188.925 t 45.600 t 0.620 t 1.200 t 1609.352 t 372.516 t 6.344 t 12.480 t 13.900 t 6.090 t 7.450 m 2.450 m	0.620 t 1.200 t 1609.352 t 372.516 t 6.344 t 12.480 t 13.900 t 6.090 t 5	56.240 t 4.980 t													
①現状 再生利用業者への 型 選 委 託 量 9.110 t 8.840 t 0.000 t 2.1.430 t 22.340 t 0.315 t 139.805 t 0.000 t	0.620 + 1.200 + 1600 252 + 272 516 + 6.244 + 12.400 + 12.000 + 6.000 + 1	56.240 t 4.980 t													
記定熱回収業者への 処理委託量	0.020 t 1.200 t 1609.352 t 372.516 t 6.344 t 12.480 t 13.900 t 6.090 t 3	36.240 t 4.980 t													
型理委託量 0.000 t 0.000	0.000 t 0.252 t 16.094 t 353.890 t 4.377 t 8.611 t 0.000 t 0.000 t	0.000 t 0.000 t													
熟回収を行う業者への 処理委託量 0.000 t 0.	. 0.620 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t	0.000 t 0.000 t													
処理委託量 0,000 t 0,0															
産業廃棄物の種類	. 0.000 t	0.000 t 0.000 t													
全処理委託量 20.000 t 80.000 t 20.000 t 100.000 t 100.000 t 20.000 t 100.000 t 20.000 t 1800.000 t 300.000 t 20.000 t 5.000 t 20.000 t 1800.000 t 300.000 t 20.000 t 5.000 t 10.000 t 10.000 t 10.000 t 100.000 t															
②計画	1316グラスウール 1322石膏ボード 1500がれき類 1501/1502 アスファル 2010安定型混合 2020管理型混合 2420 石綿含有 (ガラス、コンクリート) (ガラス、コンクリート) (ガ゙ラス、コンクリート)	440 石綿含有 (がれき類)7421 廃石綿等 (飛散性)													
型車 季託 量   20.000 t   80.000 t   20.000 t   80.000 t   20.000 t   100.000 t   100.000 t   100.000 t   20.000 t   20.000 t   1800.000 t   300.000 t   20.000 t   20.000 t   5.000 t   10.000 t   10.000 t   10.000 t   20.000 t   10.000 t   20.000 t   20.000 t   20.000 t   300.000 t   20.000 t   20.000 t   300.000 t   300.	5.000 t 20.000 t 1800.000 t 300.000 t 20.000 t 5.000 t 50.000 t 10.000 t	20.000 t 30.000 t													
②計画   再生利用業者への	5.000 t 20.000 t 1800.000 t 300.000 t 20.000 t 50.000 t 10.000 t 2	20.000 t 30.000 t													
20.000 t															
	0.000 t   19.800 t   18.000 t   285.000 t   14.000 t   3.500 t   0.000 t   0.000 t	0.000 t 0.000 t													
認定熱回収業者への   0.000 t 0.000 t 14.000 t 0.000	5.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t	0.000 t 0.000 t													
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0.000 t	0.000 + 0.000 + 0.000 + 0.000 + 0.000 + 0.000 +	0.000 t 0.000 t													